

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名						公表日	2025/3/27
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	13	0	玩具の部屋等、個別ブースが確保できている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11	2	機能訓練士の担当曜日を決めている。参加できない時は、代行を依頼。主管課と交渉を続けており、運用で対応中。	医師が不足している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	14	0	ハード面で難しい場合は、ソフト面で工夫し構造化を図れるようしている。来園されるお子さんのニーズをふまえ、環境を調整している。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	14	0	活動前後の準備で確認している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	13	0	玩具の部屋等、個別ブースが確保できている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	13	0	活動前後に確認している。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	0	意見交換会やアンケートで実施している。年に2回、保護者の意見を聞く意見交換会の実施。個別支援計画作成に伴う意見交換。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	0	活動前後に確認している。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	14	0	外部機関による第三者評価を受けている。(R5年12月実施)		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12	1	総合療育センターで研修している。また、三園交流にも参加している。	外部研修の機会が少ないように思われる。年度毎に研修する職員を選ぶため毎年全員が遠方の研修受講することは難しい。	
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12	0	パンフレットに記載している。ホームページで公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	13	0	多職種で意見を出し合い、それを踏まえて作成している。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13	0			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13	0	カンファレンスや資料の回覧で共有している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	13	0	KIDS等の質問紙や個別情報シートにより行っている。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	13	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13	0			

提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	13	0	おあつまりの内容や勉強時間の課題を毎度見直している。 個々の発達状況に応じた活動を検討し実施している。 児にわかりやすい安心して活動に参加してもらうため、大きな変更は避けている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	13	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	13	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13	0	電子カルテに記載している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	13	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12	0	園訪問を実施したり、地域園の先生方に同行いただいている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	13	0	移行支援会議や入学前後に学校を訪問し、必要な情報共有を図っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	5	0	個々に事業所に訪問したり（施設支援）自立支援協議会（部会）への参加、研修会の開催（地域療育セミナー）を行っている。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	5	0	療育のシニアアドバイザーから助言を受けている。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	5	0		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	1	それぞれの機関連携で専門共有している。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7	3	全児、地域の園に行っている（併行通園）。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11	0		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	3	地域療育セミナーなど情報提供している。	ペアレント・トレーニングは実施していない。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12	0			

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	13	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	10	2	就学に向けた保護者会を実施した。活動の流れや参加者をみながら保護者会を開催している。きょうだい同士の交流は行っていない。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	11	1	出欠確認表に行事を記載している。月に1回の出席確認（ぐんぐんだより）と合わせて情報発信をしている。	発信が少ない。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	14	0	職員間で研修も実施し、情報の取り扱いには細心の注意を払っている。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13	0		
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	6	地域療育セミナーを開催している。利用者の障害特性に配慮し、安心できる環境調整を安定的に提供していくため地域住民を招待目的の行事は企画していない。子ども支援のあり方を研修、啓発としてセミナーを主催し幅広く招待している。意見交換会には住民の代表の方に関わっていただいている。	交流はしていない。環境の調整、個人情報の管理の難しさから十分に行っていない。ただし、お子さんに関わる関係機関の職員の来園、地域の学校生徒に実習などはいつでも受け入れをしている。重症心身障害児者が利用する施設であり、コロナ・インフルエンザ対策あり、実現できていない。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	12	0	必要な聞き取りを行っている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11	0	食事提供元の皆成学園と連携してアレルギーの聞き取りをして、適切な対応を行っている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	13	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13	0		
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13	0			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	14	0			